

「阿波ふうど情報」 (vol.74)

発行：とくしまブランド推進機構

連絡先：電話 088-634-2667 / ファクシ 088-634-2668

住所：徳島市北佐古1番町5-12 JA会館3階

http://www.tokushima-kousha.jp/brand/



「生産振興対策」情報

(文責：井川マネージャー)

○JAえひめ中央「中山間果樹産地の担い手確保・園地集積対策」の調査報告

全国的に中山間地域では、生産者の高齢化が進み傾斜地での農作業が厳しくなっているうえに、鳥獣被害による栽培意欲は低下し離農者や耕作放棄地の増加が問題となっています。

その中、愛媛県ではJAが営農部門の強化を図り、担い手確保と、園地集積対策に取り組んでいる事例について、今後の参考となると考え関係者で調査を行ったので報告します。

愛媛県のJAえひめ中央では新規就農研修センターを設置するとともに、農地中間管理機構関連事業を活用した園地整備(約8ha)を行っています。

この新規就農研修センターでは、年間就農者15名を目標として2年間の研修制度を設けセンター開設から6年間で35名が就農しています。

新規就農者に対しては、営農指導員が空き園地の斡旋や就農地域関係者への紹介、さらに今後整備した園地への入植斡旋を行うこととしています。



園地整備後のイメージ図

今後、とくしまブランド推進機構としても、果樹産地の担い手確保・園地集積による産地改革が進むよう、関係機関と連携して推進してまいります。

「販路拡大」情報

○魅力周知のため「産地見学会」を行っています。

(文責：堀チーフマネージャー)

徳島県には数多くの魅力ある農産物や加工品が造られていますが、広く伝わっていません。また、各種業界バイヤーは全国の埋もれた魅力ある商品を探していることから、とくしまブランド推進機構では、県産品の魅力周知のため県外からバイヤーを招聘し産地を案内しています。

本年は、4月「全国スーパーマーケット協会」、6月「遠忠食品」、8月「ベルーフ」など、4月から11月までに10社に県内産地を案内しました。

その中、11月にシェフパティシエ「江藤 英樹氏」を、県が進める”産地リ・ブランディング事業”の一貫として「なると金時」と「かんきつ」産地を案内しました。

かんきつ産地では、ミカンやユズの収穫体験などで魅力を伝えた結果、県産「温州ミカン」を使ったデザートを作成したいとの要望が来しました。

今回の機会を活かして、今後に関わり県産農産物の魅力が広まることが期待されます。



ミカンの収穫体験



試作品(例)

○今後もマーケットイン型産地づくりの提案活動を行いますので、御協力をお願いします！

「とくしまブランド推進機構」

愛称：地域商社 阿波ふうど

☆阿波ふうど

「AWA FOOD」とは？

「阿波(徳島)の風土に育まれた幸をもたらす」
ということを表現



「とくしまブランド推進機構」は、「農家所得の向上」と「農業生産の拡大」を目的に、マーケットイン型の生産・流通・販売を総合的に推進するため、徳島県・県農業開発公社・JA徳島中央会・JA全農とくしまの4者が創設した組織です。